

結城農業 かわら版

第106号
11月20日

発行

結城地域農業
改良普及センター

TEL:0296-48-0184

FAX:0296-48-2682



HPへアクセス↑

今日は何の日？
1989年11月20日に「児童の権利に関する条約」が採択されたことから、「世界こどもの日」に制定された日です。

東京農業大学「ファイルド研修」

県西地区の農業経営士が受入れ

茨城県農業経営士協会が東京農業大学との学生実習に関わる協定に基づいて主催し、本県では初めての開催となりました。

10月4日(木)～9日(火)
東京農業大学学生18名が、県西地域9名の農業経営士宅(うち、結城地区4名)において宿泊による農業フィールド研修を行いました。



受入れ式を行う農業経営士↑

結城管内では学生9名が、レタス・水稲を初めてした多くの農産物の収穫や出荷調整などの作業を行ったほか、採れたて野菜の加工など都会ではできない多くの貴重な体験をすることができました。さらに受け入れ農家と寝食を共にすることで、経営士の方々と多くの言葉を交わし、経営者としての経営理念も学生たちは知ることができ、農家の大変さと魅力を全身で感じる研修となりました。

研修終了式では受入れを行った農業経営士全員から「農業を一生懸命学ぼうとする姿が素晴らしいかった」などの感想と激励の言葉が学生達へ送



落花生の収穫を体験した学生↑

ひとことメモ

落花生には、抗酸化作用により、体内の脂質の酸化を防いで体を守る働きがあるビタミンEが豊富に含まれています。

料理教室を開催

若手女性から学ぶ斬新なレシピ

10月16日、八千代町農村環境改善センターにおいて、結城地域女性農業士会と若手農業女性グループ「グリーンSun woman♥」がッキングングスクールを共催しました。今回のスクールには女性農業者20名や子供も参加し、地元食材をふんだんに使った調理や世代を超えた地域の交流を参加者たちは楽しみました。

本研修会は、結城地域女性農業士会が食農教育活動の一環として地域若手農業女性を対象に毎年開催しています。今年もグループ内で話し合い、地域若手農業女性グループ「グリーンSun woman♥」とコラボするとともに講



ナスのピザ風チーズ蒸し↑



完成した料理を食べる参加者↑

師もお願いし「若手女性発案の地元農産物を使った料理」をテーマとしたクッキングスクール開講に至りました。当日は参加者が持ち寄った新鮮な地元産野菜等を材料に、炊飯器を斬新に利用した「炊き込むチャーハン」や「ナスのピザ風チーズ蒸し」「野菜のミルクスープ」「ミルクヨーグルトキャラメル」4品を調理しました。

参加者は、調理方法を熱心に学び、実際に料理を食べ、その美味しさと共に改めて結城地域の野菜の素晴らしさを実感し、非常に充実した研修となりました。

結城市

飼料用子実トウモロコシ

現地検討会開催

平成30年10月30日、結城市の農事組合法人宮崎協業の実証圃(転作圃場等約3ha)において標記現地検討会を開催しました。

子実トウモロコシは家畜の主要な飼料であり、現在、そのほとんどを海外に依存しています。今回、本飼料の生産により、安全安心な国産濃厚飼料の供給と、水田輪作への組込が有効な期待できる品目であることを実証しました。

実際、農家、畜産団体、JA関係機関など約



説明を聞く参加者↑



トウモロコシ(上)コンバイン(下)



80名の参加者は、専用コンバインWRH1200による収穫実演を見学し、その後、栽培労力や利用法など熱心に質問をしていたことから、期待の高さが伺えました。

最後に、実証圃に取り組んでいただいた宮崎協業の大島組合長が「連作障害回避や労働時間の短さ等のメリットから手応えを感じた」との感想を話され、充実した内容となりました。

食の勉強会開催

子供の食育を考える

茨城県では、県内の農業経営士から中核的な農業者、新規就農者を対象とした農業経営者育成講座や先進農業技術講座などの幅広い学びの場を提供しています。

今回は、その一つである「いばらき農業アカデミー女性農業者育成講座」を一年間受講した女性農業者土(知久田さん)が関連事業を活用し、野菜ソムリエ、石井真由美さんを講師とした、はべたん食堂勉強会を開催しました。

勉強会には、食堂に関する農家・非農家合わせて12名が参加しました。「朝食を食べている子供は約80%いるが、その内容はお菓子やジュースの場合もある」という衝撃的な内容から始まり、「飯をバランスよく食べていないと「風邪をひきやすくなる」「やる気が出ない」といった不調が現れる」等の分かりやすい講師の話により、いかに子供

の食事が大切かを勉強することができました。

また「バランスが良い食事とは旬の野菜を取り入れた一汁三菜または一汁二菜、一日に野菜は350g、果物は200g摂ることが望ましい」など具体的な食事内容の説明は、大変参考になりました。

講演後、参加者は講師を交え「20%の子供が朝ごはんを食べてないことに驚いた」「レバニガネをおいしく食べさせるにはどうすれば良いか」等の子供の食育に関わる熱心な意見が交換され、今後の食堂の運営に向け、有意義な時間を過ごすことができました。



講演を聴く参加者↑

鬼怒4Hクラブ

カボチャ収穫

7月下旬から栽培を開始した鬼怒4Hクラブのカボチャが収穫の時期を迎えました。

収穫直前に襲った「台風24号」の影響により、葉が倒されてしまったため、若獲りとなりました。

収穫したカボチャは、カボチャ特有のほくほく感は少し劣りますが、スープや炒め物等の調理をすることにより、美味しく食べることができました。

若獲りカボチャでしたが、関係機関の皆様御協力により、完売することができました。御協力頂いた皆様、ありがとうございました。



収穫したカボチャ↑

新規クラブ員募集中!

常総市・八千代町の若手農家の皆様、大歓迎!詳細は、普及センターまでお問い合わせください!

連絡先

茨城県県西農林事務所 結城地域農業改良普及センター 茨城県結城郡八千代町大字若1517-5

住所

担当 (中村・森) TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682